



ベンチャー開発戦略研究センター丸の内オフィス開設

http://www.aist.go.jp/aist_j/topics/to2002/to20021029/to20021029.html

10月28日(月)に、産総研ではベンチャー開発戦略研究センター丸の内オフィスの開所式を行いました。

この丸の内オフィスは、東京駅から5分のところにあり、皇居を臨む300㎡のフロアにベンチャー創出を目的とした戦略・システム研究のためのスペース、会議室等が機能的に設けられています。

当研究センターは、文部科学省「戦略的研究拠点育成事業」の委託を受けて、産総研発ベンチャーの創出と

ベンチャー創出・支援活動により明らかとなる課題と解決策を体系化することによって、公的研究機関の技術シーズを基にした日本型ベンチャー創出システムの確立に向けた研究に取り組んでいきます。

【参照記事：AIST Today Vol.2 No.10 P.4～】



●丸の内オフィス 〒100-0005
東京都千代田区丸の内2丁目2-2 丸の内三井ビルディング2階
(電話) 03-5288-6868 (FAX) 03-5288-6869



中国センター一般公開

http://unit.aist.go.jp/chugoku/ibe/koukai_14.html

10月11日(金)、中国センターでは一般公開を行いました。中国センターの一般公開は、施設や研究の紹介はもちろんのこと地域の皆さんを対象とした講演会を同時開催しているのが特徴です。

まず研究の紹介ですが、海洋資源環境分野では微生物による沿岸環境浄化を利用した有機スズ化合物分解法の開発や海洋生物が持つ機能を模倣したバイオガラスの開発の紹介、海洋モニタリング技術の開発を進め

る海上浮体実験室の模型展示、世界最大級の瀬戸内海大型水理模型を用いて一日を約10分に短縮して潮の流れを再現する公開実験を行いました。また、基礎素材分野では材料の予測診断技術の開発、表面処理技術の研究などを紹介しました。

そして呉市の協力で同時開催された市民科学技術セミナーでは中村克洋キャスターの「科学する心ーイメージの力ー」と題した講演があり、広島県内の小・中・高校生や地元一



般の方々、企業関係者など900名以上もの来場者がありました。



地質標本館2002年度野外観察会実施

http://www.gsj.jp/Muse/eve_care/2002/menou1012/agate/index.html

10月12日(土)に地質標本館2002年度野外観察会「奥久慈の海底火山とめのうをさがして」を実施しました。

当日は秋晴れに恵まれ、22人の参加者が、茨城県の奥久慈地方に向け出発しました。奥久慈は久慈川の最上流部にあたり、日本三大名瀑のひとつ袋田の滝や、男体山・長福山・笹岩といった山々が見られます。これらの景観は、今から約1,500万年前の

海底火山の活動によってできた地層が、その後の隆起や浸食などによって現在の姿になったものです。今回の観察会は、これらの地形を実際に観察し、太古の地球に思いをはせ、身近なところから地質に興味を持ってもらうためのものです。

観察会では、展望台から地質の解説、海底火山の溶岩や“めのう”脈の観察、そしてお目当ての“めのう”



を採取したのち、袋田の滝の形成過程の説明を行いました。